

パークシャー ハサウェイ B(BRKB)

【セクター】 金融

【市場】 NYSE

【企業概要】

米国で「オマハの賢人」「投資の神様」と呼ばれるウォーレン・バフェット氏が率い、米国ネブラスカ州オマハに本社を置くコングロマリットです。保険事業を中心に、製造業、鉄道、電力、サービス・小売などに展開しています（図表1）。主力の保険事業では、自動車保険の「GEICO」、再保険の「Berkshire Hathaway Reinsurance Group」、保険引き受けの「Berkshire Hathaway Primary Group」などが主な傘下企業です。世界の株式時価総額でトップ10に入る大企業です（20/5/15時点）。

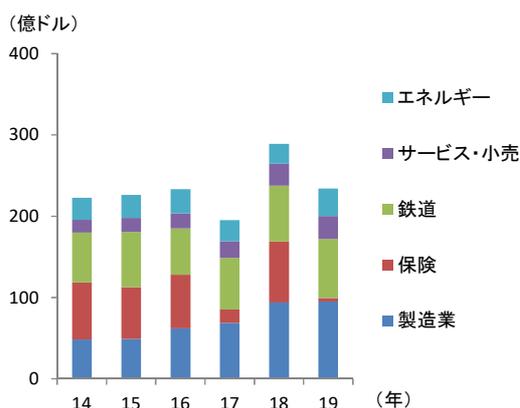
【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
18年12月期	225,382	24,781	10.05	0.00	141.2	7.1	49.8
19年12月期	327,223	23,972	9.78	0.00	141.7	6.2	52.4
20年12月期予想	215,927	21,683	9.37	0.00	160.1	6.8	-

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

【主要指標】

図表1 部門別税前利益



(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

図表2 株式ポートフォリオの上位銘柄（19年3月末）

銘柄(コード)	保有額 (億ドル)
アップル(AAPL)	623
バンク オブ アメリカ(BAC)	196
コカ-コーラ(KO)	177
アメリカン エクスプレス(AXP)	130
ウェルズ ファーゴ(WFC)	93
クラフトハイツ(KHC)	81
ムーディーズ(MCO)	52
JPモルガンチェース(JPM)	52
US バンコープ(USB)	50
ダヴィータ(DVA)	29
その他	272
合計	1,755

(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

【会社の見方】

同社が主力とする保険事業には、「掛け金を先にもらい、保険金は後払い」という現金収支の時間差があり、この効果による余裕資金は「フロート」と呼ばれて19年12月期には1,294億ドルにのびました。この資金を事業買収や株式投資に充当して事業を拡大していく経営スタイルを確立しています。幅広い産業に展開するほか、非常に大きい株式ポートフォリオを保有するため、株式市場では実質的に「投資ファンド」として扱われることが多いようです（図表2）。会社の決算リリースでも、EPSではなくBPSを中心に経営成果を開示しています。18年から投資評価損益を期間利益に反映する会計基準の変更があったため、投資残高が大きい同社の純利益は大きく変動します。

【見通し・注目点】

20年1-3月期の決算は営業利益が59億ドルで前年同期比6%増でしたが、株式市場の下落をうけて投資損益が556億ドルの赤字となったため、純利益は497億ドルの赤字でした。COVID-19について、幅広い事業で4月から売上が鈍化し、小売関連や複数の製造事業では外出規制により甚大な影響が出ているとしています。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 20/5/20)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。